

派遣先(年度)	ロンドン研究連絡センター (2012 年度)
現在の業務内容	先端的国際共同研究の推進、外国人研究者招へい、国際シンポジウムの企画ほか
研修中の業務内容/研修後、業務にどのように活かされているか	<p>2年間の研修を通じて、国際イベントを実行する力と俯瞰して考える力が身に付きました。東京本部では、HOPE ミーティング、英国ではJSPS80周年記念式典の運営に携わりました。会場の選定や10数ヶ国からの参加者募集、多文化に渡る食事の手配等、国際イベントならではの運営の難しさを経験できたことは、現在の業務にも活かしています。</p> <p>海外実務研修では、大学訪問やインタビューを通じ、英国は制度設計、大きなフレームワークを作るのが非常に長けており、日本よりも仕組みを構築する上手さを実感しました。日本の大学も5年後、10年後を見据えた取組が重視されている今、将来を見据えたアプローチ法を英国で多少なりとも身に付けることができ、帰任後、国際研究機構の仕事をするうえで自分の指針となりました。</p> <p>2年間で大きなチャレンジができ、キャリアのターニングポイントになった研修だったと確信しています。</p>